



出演

藤森照信

建築史家・建築家

1946年、長野県茅野市生まれ。近代建築史・都市史研究の第一人者として多くの業績を残す。『人類と建築の歴史』（ちくまプリマー新書）など著書多数。1991年、茅野市神長官守矢史料館を設計し、建築家としてデビュー。2011年より、茅野市ふるさと縄文大使を務める。

ファシリテーター

志水りえ

モダンリビング編集長

旧婦人画報社（現ハースト婦人画報社）入社。2004年より『モダンリビング』編集部。「住居の原点」の撮影すべてに同行している。

藤塚光政

写真家

1939年、東京都生まれ。東京写真短期大学卒業後、月刊『インテリア』編集部を経て、1965年フリーランスになる。1987年日本インテリアデザイナー協会賞受賞。著書に『どうなってるの？身近なテクノロジー』（新潮社）や『日本木造遺産』（世界文化社）などがある。

2017年10月20日(金)

茅野市民館 マルチホール

18:00開場 18:30開始 | 観覧無料(申込み不要・定員600名)

協力：ハースト婦人画報社

縄文アートプロジェクト2017

藤森照信 新作茶室 竪穴式茶室「低過庵」

<http://www.chinoshiminkan.jp/jomon/hikusugian/>

お問合せ 茅野市美術館（茅野市民館内）

長野県茅野市塚原一丁目1番1号

TEL 0266-82-8222

人が求める  
住まいとは？

竪穴式茶室「低過庵」トークイベント

自然素材や植物を用いて、これまでに40作品以上の独創的な建築を創り続けている建築史家・建築家、藤森照信と、写真家として藤森の建築を撮り続けている藤塚光政によるトークイベントを開催します。近著であるモダンリビング別冊『藤森照信の住居の原点』では、藤塚によるフジモリ建築22件の写真とともに、「住まいの原点」をキーワードにした藤森の言葉が紹介されています。長野県茅野市宮川高部にて今夏、制作・完成した藤森の最新作「竪穴式茶室「低過庵」」を中心に、「縄文」(土)などのキーワードとともに、「人の居心地のいい場所」についてうかがいます。